

令和3年度 吉岡町社会福祉協議会 事業報告書
(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

I. 社会福祉事業 i. 地域福祉事業拠点区分

1. 法人運営事業サービス区分

f.) 会員加入状況

年 度	世帯数	一般会員 世帯数	一般会員 納入金額	納入割合
令和 元年度	7,967	6,006	6,006,000円	75.4%
令和 2年度	8,142	6,103	6,103,000円	75.0%
令和 3年度	8,327	6,166	6,166,000円	74.0%

年 度	賛助会員数	賛助会費	特別会員	特別会費	団体会員	団体会費
令和 元年度	37人	185,000円	26法人	155,000円	2団体	60,000円
令和 2年度	36人	185,000円	25法人	125,000円	2団体	60,000円
令和 3年度	35人	180,000円	23法人	120,000円	2団体	60,000円

2.) 役員会・評議員会開催状況

役員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
3. 4. 2	8	9	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
3. 5. 28	9	9	議案第1号 令和2年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について 議案第3号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について 議案第5号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について 議案第6号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について 議案第7号 吉岡町社会福祉協議会苦情対応第三者委員の選任について
3. 6. 24	10	10	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選定について 承認第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)に係る専決処分報告と承認を求めることについて
3. 9. 17	8	10	承認第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)に係る専決処分報告と承認を求めることについて 議案第1号 吉岡町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 議案第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
3. 11. 24	10	10	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について

3. 12. 10	10	10	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会定款の変更について 議案第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第5号)について 議案第3号 吉岡町社会福祉協議会事務局職員の給与規程の一部改正について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
4. 2. 25	9	10	議案第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第6号)について 議案第2号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会評議員会の招集日程について
4. 3. 29	10	10	承認第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第7号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 吉岡町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

評議員会

開催年月日	出席数	定数	議 題
3. 4. 15	19	20	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会役員(監事)の選任について 議案第2号 吉岡町社会福祉協議会役員(監事)の選任について
3. 6. 24	19	20	議案第1号 令和2年度吉岡町社会福祉協議会事業報告について 議案第2号 令和2年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出決算について 議案第3号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第1号)について
3. 9. 30	18	20	承認第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第2号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 承認第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第3号)に係る専決処分の報告と承認を求めることについて 議案第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第4号)について
3. 12. 16	19	20	議案第1号 吉岡町社会福祉協議会定款の変更について 議案第2号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第5号)について
4. 3. 17	19	20	議案第1号 令和3年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出補正予算(第6号)について 議案第2号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会事業計画(案)について 議案第3号 令和4年度吉岡町社会福祉協議会歳入歳出予算(案)について 議案第4号 吉岡町社会福祉協議会役員(監事)の選任について

2. 地域福祉事業サービス区分

1.) 地域担当制『地域つなげる!!つながる!!社協マン』

(1) 事業概要

町内13自治会に、地区担当としてそれぞれ職員を2～3人ずつ振り分け、担当地域の状況を把握し、身近な相談役として、第2期吉岡町地域福祉計画・第2期吉岡町地域福祉活動計画に基づき、「社協の見える化」「地域課題の発掘」「支え合い・助け合いの仕組みづくり」による地域福祉の推進を地域住民とともに図った。

(2) 事業結果

- ・自治会会議への出席 26件
社協職員の同席を快く受け入れてくださり、自治会の動きの再確認、地域の現状把握、見守り活動の進捗把握、社協のPRに繋がった。
仕事をしている役員が多く、改めて地域での活躍への感謝と、負担軽減の必要性を実感できた。
役員が自発的に、積極的に地域のために活躍できるよう、信頼を獲得したもとので共に地域について考え、引き続きバックアップしていきたい。
- ・自治会行事への参加 7件
コロナ禍で中止される行事が多かったが、中でもできる行事を考えて実施していた。
住民同士の交流・教養を高める・防災に対する意識づけ等の機会を担っていた。
住民一人一人の声を聞き取ることができ、地域の結びつきを強める必要性を感じた。
- ・民生委員との連携 26件
自治会と民生委員との連携に課題があることが分かったため、今後検討をしていきたい。
- ・サロン、筋トレへの参加 29件
役員の担い手不足、参加者の高齢化及び新規参加者の減少・呼び込み、交通手段の課題等、事前に把握はしていたものの、実際に地域に出ることでより痛感した。
参加している人にとって、とても楽しい場所、健康を維持できる場所、継続していくべき大事な居場所であった。
コロナ禍により休止することもあったが、見守りを取り入れるなど地域における見守り活動を担い、仲間同士で支え合っていたところもあった。
- ・出張社協 0件
- ・その他 6件

2.) 福祉ネットワーク推進事業

(1) 事業概要

超高齢社会、核家族が進む中、高齢者及び障がい者等援護を必要とする者への地域ぐるみの援護システム作りを目的とし、各自治会単位で交流事業や見守り活動を実施した。

(2) 事業結果

①助成金

吉岡町13自治会に対し令和3年度活動助成金支出	元年度	2年度	3年度
会費収入	1,393,128円	1,398,820円	1,402,360円
町補助金収入	520,000円	520,000円	520,000円
事業費	1,913,128円	1,918,820円	1,922,360円

②福祉ネットワーク連絡協議会会議

実施日：令和4年3月17日(木) 吉岡町社会福祉協議会評議員会終了後

会場：老人福祉センター会議室 出席者：13人

内容：吉岡町13自治会長に対し、改めて事業説明を実施。

特に令和4年度より地域における見守り活動の実施を必須とする要綱・補助金の見直しを行うため、その説明を中心に行い、自治会長からの理解と協力を得る。

③見守り体制づくり援助

実施日：令和3年9月12日(日)

会場：大久保寺下自治会役員会議 出席者：11人

内容：事業説明。例を示しながら地域における見守りの重要性を伝えた。

④コロナ感染対策物品購入支援

コロナ禍により、福祉ネットワーク事業として実施していた高齢者慰安会や世代間交流会等の集いの場実施困難にあたり、見守りを目的としたコロナ対策用品の配布を認め、一部物品の手配の支援を行った。

3.) 社会を明るくする大会

(1) 事業概要

社会を明るくする運動の一環として、青少年問題の現状と課題を明らかにして、青少年健全育成の推進に、町更生保護女性会及び保護司会と協力して実施した。

(2) 事業結果 (コロナ禍の影響により、規模を縮小して実施した。)

- ・実施日 伝達式：令和3年7月1日、のぼり旗設置：6月30日
- ・会場 役場及び町内
- ・内容 ア. 町長へ法務省提唱のメッセージ伝達
イ. のぼり旗の設置による啓発活動
ウ. 講演「保護司の活動について」

・参加人数 44人

	元年度	2年度	3年度
会費収入	59,421円	0円	42,489円
事業費	59,421円	0円	42,489円

4.) 障がい児・者交流事業

(1) 事業概要

町内在住、在勤の身体・知的・精神障がい児・者とその家族を対象に、交流を図り、仲間づくりの場となることを目的に老人福祉センターを開放した事業等を実施する。

(2) 事業結果

コロナ禍により開催中止

	元年度	2年度	3年度
会費収入	25,865円	0円	0円
事業費	25,865円	0円	0円

5.) ボランティア育成活動推進事業

(1) 事業概要

住民の福祉の向上を目指し、ボランティア活動の充実と地域社会の福祉を推進するために、ボランティアの育成・活性化の推進、そして、団体の活動が一層主体性を活かせるように協力した。また、地域のために活躍されているボランティアやこれからボランティアを始めたいという方々のボランティア意識の高揚を図り、ほっとひといき気軽に集まれる場を設け、情報交換を行える「ハートボラカフェ」を実施した。

(2) 事業結果

- ①ボランティア活動保険助成事業 (1人当たり保険料 350円)
 - ・保険加入者数 167人 (2年度：185人、元年度：192人)
- ②ボランティアポイント制度
 - ・制度利用者数 186人 (2年度：185人、元年度：195人)
 - ・表彰者数 42人 (2年度：43人、元年度：45人)
- ③ハートボラカフェ
 - ・実施回数 8回
 - ・参加人数 128人
- ④ボランティア交流会

- ・実施日 令和4年4月22日(金)
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 16人
- ・内容 ア 表彰式
イ 交流会

	元年度	2年度	3年度
町補助金収入	349,542円	370,778円	460,728円
手数料収入	18,500円	17,500円	18,400円
事業費	368,042円	388,278円	479,128円

【感想・反省】

ハートボラカフェ等を活用しながら、楽しいボランティア養成講座やボランティア講習会を行い、ボランティア意識の高揚を図り、さらに新規ボランティアの担い手確保を目指したい。

6.) 心の休憩所～tsubomi～事業

(1) 事業概要

不登校やひきこもりのため、心に不安を抱え、学校や社会、外へ出ていくことが困難な当事者とその家族に対して、不登校・ひきこもりサポートコーディネーターによる傾聴セラピーの場を設け、抱える不安に寄り添いながら不安軽減を図り、ひとりひとりの安心できる外の世界、集いの場となることを目的とする。

(2) 事業結果

- ・相談延件数 8件 (内訳：当事者4件 家族4件)

7.) シルバーカー購入費補助金交付事業

(1) 事業概要

高齢者の歩行の補助としてシルバーカーを購入した場合、購入費の一部を補助し、費用負担の軽減と日常生活の利便を図ることを目的に実施した。

(2) 事業結果

・交付決定者 9人(2年度:5人、元年度:7人)

	元年度	2年度	3年度
会費収入	34,900円	25,000円	45,000円
事業費	34,900円	25,000円	45,000円

8.) 高齢者交通安全活動推進事業

(1) 事業概要

高齢者の交通事故防止や振り込め詐欺、悪質商法被害等から高齢者を守ることを目的とした講話を実施した。今回は防災にも目を向け、いざという時のため、町の防災専門員による防災講話も実施した。

(2) 事業結果

・実施日 令和3年11月8日(月)
 ・会場 吉岡町老人福祉センター
 ・参加人数 43人(2年度:51人)
 ・内容 災害に対する意識付け、家庭でできる災害対策の説明、詐欺の手口や町・県の状況などの紹介。

	元年度	2年度	3年度
会費収入	5,708円	6,400円	9,500円
事業費	5,708円	6,400円	9,500円

9.) 老人福祉センター開放事業

(1) 事業概要

老人福祉センターを開放し、この施設や社協の業務内容のPRを図りながら、地域住民が気軽に参加できる事業を行うことにより、コミュニケーションが図られ、より良い吉岡町を創造して行くことを目的に実施した。

(2) 事業結果

・実施日 令和3年7月28日、29日
 ・参加者 37人(小学生向けポスター教室)

	元年度	2年度	3年度
会費収入	20,000円	0円	10,000円
事業費	20,000円	0円	10,000円

10.) 福祉バザー

(1) 事業概要

より多くの住民が集い、地域のつながりをもって交流できるよう家庭で眠っている物品を必要な物と安く交換できる福祉バザーを隔年で実施している。また、収益金においては地域に還元し、社会福祉協議会を多くの住民に理解していただけるようPRの場としての機能も果たしている。

(令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため未実施)

11.) 制服等リユース事業

(1) 事業概要

卒業や成長で不要になった制服、体操着、体育館シューズ、ウインドブレーカー、鞆等を住民から回収し、それらを必要とする住民に配布することで、子育て家庭への経済的負担の軽減と資源の有効活用の促進を図った。

(2) 事業結果

・寄付申出者 17名(寄付受け入れ:104点)
 ・引渡希望者 19名
 ・お渡し会実施日 令和3年11月28日
 ・会場 老人福祉センター

12.) 職員出前講座

(1) 事業概要

地域のふれあい・いきいきサロン会場や介護予防事業会場において、福祉や介護予防について理解を深め地域住民の生活に役立ててもらうことを目的に、職員の持っている知識や特技を生かした講座を行った。

(2) 事業結果

- ・実施会場 8会場 (2年度: 9会場、元年度: 15会場)
- ・参加延人数 116人 (2年度: 104人、元年度: 212人)

13.) 認知症カフェ事業

(1) 事業概要

認知症の方やその家族、地域住民誰もが気軽に集い、楽しいひと時を過ごせるよう地域のボランティアの協力による「元気になるカフェ」を実施した。また、ボランティア(ささえ隊・もてなし隊)を対象とした講演会や意見交換のための交流会を実施し、カフェの充実を図った。さらに、認知症の方と家族が医療介護従事者や介護経験者と一緒にゆっくり過ごし、不安や心配事を語り合い理解し合える居場所「22カフェ」を実施した。

(2) 事業結果 ※()内の2:は、2年度実績、1:は、元年度実績

①デイサービスJAげんき喫茶室 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設

- ・実施回数 28回 (2: 28回、1: 45回)
- ・参加延人数 286人 (2: 229人、1: 797人)
- ・ボランティア延人数 91人 (2: 97人、1: 197人)

②よしおか ROBAROBA (地域福祉交流施設) 毎週木曜日 午前10時から12時まで開設

- ・実施回数 28回 (2: 28回、1: 45回)
- ・参加延人数 412人 (2: 466人、1: 1,089人)
- ・ボランティア延人数 112人 (2: 116人、1: 195人)

※コロナウィルス感染拡大防止のため①、②は5/6~6/10、8/5~10/7、1/27~3/3は中止

③22カフェ 毎月22日 月1回 午後1時から3時まで開設

- ・実施回数 9回 (2: 6回、1: 11回)
- ・実施場所 よしおかROBAROBA
- ・参加延人数 29人 (2: 28人、1: 39人)
- ・協力者延人数 12人 (2: 5人、1: 13人)

※コロナウィルス感染拡大防止のため③は5月、8月、9月は中止

④元気になるカフェボランティア講演会

- ・実施日 令和3年7月26日
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 32人

⑤元気になるカフェボランティア交流会

- ・実施日 令和4年2月28日
- ・会場 吉岡町老人福祉センター
- ・参加人数 22人

⑥夏休み!元気になるカフェ お手伝い体験企画(小学5年生~中学3年生)

- ・実施回数 0回 (コロナ禍により開催中止)
- ・参加延人数 0人

【利用者等の要望や今後の目標等】

「遠くの方が参加できない」「もっと身近にカフェがあれば参加しやすい」等、足の問題が以前より課題となっており、今後カフェをより充実させていくためには、それぞれの地域の方が参加しやすい「移動カフェ」の実施を目標に計画していく必要があると感じた。さらにボランティアの育成や体制の見直しも図っていききたい。

22カフェでは、関係機関への周知を図り、必要な方への利用促進を図っていくことが今後の課題である。

	元年度	2年度	3年度
会費収入	—	—	245,417円
寄附金収入	—	—	99,000円
積立資産取崩収入	245,417円	164,227円	—
事業費	221,388円	164,227円	344,417円

14.) 移送サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等の方で、通院や買い物等への交通手段がない方を対象に、積極的に外出する機会を確保し、閉じこもり等にならないように介護予防を行い、在宅生活の継続を目的に移送サービスを実施した。

(2) 事業結果

年度	登録人数	利用人数	利用延回数	利用券販売額
令和元年度	33人	20人	290回	75,600円
令和2年度	30人	22人	358回	9,000円
令和3年度	49人	33人	415回	0円

【感想・反省・課題】

移送利用登録者数、利用回数の増加に対して、担い手となるボランティアが不足しており、新規ボランティアの確保が課題である。ボランティアの担い手の確保のため、ボランティアセンター、ホームページ、社協だよりにてボランティアの募集をしていく。

	元年度	2年度	3年度
前期末支払資金残高	5,000円	700円	4,100円
移送サービス事業収入	87,000円	107,400円	124,500円
事業費	92,000円	104,000円	128,600円

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)99,900円(R2.5.11~)

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連)124,500円(年間助成)

15.) 福祉車両貸出事業

(1) 事業概要

高齢又は障がい等により歩行が困難な方で車椅子を必要とする方に、リフト付自動車を出した。通院や買い物など日常生活の利便性を図ると共に、行事やレクリエーション等に積極的に参加する機会を確保した。(利用料:1kmあたり10円)

(2) 事業結果

- 貸出件数 53件(2年度:45件、元年度:49件)
- 走行距離 1499.2km

車両	貸出回数	走行距離	福祉車両貸出事業収入	元年度	2年度	3年度
ハイゼット	28回	783.0km	事業費	12,250円	15,280円	14,992円
アトレー	18回	547.0km		12,250円	15,280円	14,992円
シエンタ	7回	169.2km				

【感想・反省】

・利用人数は12名で、うち4名が新規の利用であった。利用目的は施設や通院の送迎のために利用される方がほとんどで、単発の利用の方が数名、定期的に利用されている方が多かった。使用者によっては、頻繁に通院する人もおり、月2回までの利用では少ないという声もあった。また、家族に会わせたいという理由で、施設から一時帰宅するために使用したいという方もいた。

・前年度より貸出件数は8件増加したが、事業収入は288円減少。定期通院や近隣の医療機関への受診が多かったため、貸出件数は増加しても事業収入の増加には繋がらなかったと思われる。
 ・今年度より新しく普通車の福祉車両も加わり、活用していただいているが、定期的に利用している方は軽自動車で使い慣れた車両が良いという声がある一方、新車を使用した人からはバックモニターが付いていて運転がしやすい、長距離を乗るときは快適という声もあった。

16.) 福祉機器及び器具備品等貸出事業

(1) 事業概要

福祉機器は、高齢者や身体に障がいのある方及び傷病のため自宅にて療養中の方へ貸出し、器具備品は、自治会及び自治会に属する団体や福祉団体又は地域活動やボランティア活動を目的とするグループへ貸出しを行った。

(2) 事業結果

- 福祉機器 15件(2年度:15件、元年度:18件)
- 器具備品等 2件(2年度:7件、元年度:16件)

	元年度	2年度	3年度
会費収入	0円	0円	0円
事業費	0円	0円	0円

17.) 生活福祉資金貸付事業

(1) 事業概要

県社会福祉協議会が行う貸付事業の申込窓口として、低所得世帯、障がい者世帯及び高齢者世帯からの申込相談に対応した。相談者の経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加を図り、その世帯の安定した生活を確保することを目的とした。また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象とした緊急小口資金等の特例貸付の相談・申請窓口として対応した。

(2) 事業結果

- ・相談延件数（電話問合せ含む） 156件（前年度：227件）
- ・貸付件数（令和4年3月31日現在）

		＜特例貸付＞	
総合支援資金	2 世帯	緊急小口資金特例貸付	39件
福祉資金	1 世帯	総合支援資金特例貸付	36件
緊急小口資金	5 世帯	総合支援資金特例貸付（延長）	9件
教育支援資金	6 世帯	総合支援資金特例貸付（再貸付）	17件

【経過・感想】

- ・特例貸付が開始された当初に比べ、令和3年度の相談件数、申請件数は落ち着いた。
- ・令和3年度の傾向としては、貯蓄を取り崩して今まで貸付を回避していたが、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響でついに生活が苦しくなったケースがみられた。また、貸付が終了した世帯からの問い合わせにより、継続して困窮状態にある様子が見受けられ、貸付が生活の改善・安定につながっていない現状を感じた。
- ・特例貸付の償還における措置期間は延長されており、非課税世帯であれば償還免除となり得るが、今後も生活困窮者自立相談支援事業と連携した対応をしていく必要がある。

	元年度	2年度	3年度
県社協受託金収入	143,500円	982,000円	636,000円
会費収入	500円	0円	0円
前年度繰越金	0円	0円	180,962円
事業費	144,000円	801,038円	761,387円

3. 日常生活自立支援事業サービス区分

1.) 日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

基幹社協として、認知症や知的障がい及び精神障がいなどで判断能力が不十分な方が、地域自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用、日常的金銭管理などの支援を行った。

(2) 事業結果

	新規契約件数	契約終了件数	実利用者数	利用料助成対象者数
令和元年度	—	—	12人	8人
令和2年度	—	—	9人	6人
令和3年度	1人	2人	8人	6人

	元年度	2年度	3年度
助成金収入	—	—	1,192,000円
県社協受託金収入	—	—	10,375円
町補助金収入	15,500円	9,625円	10,375円
利用者収入	—	—	36,850円
雑収入	—	—	3,960円
事業費	15,500円	9,625円	1,253,560円

4. 共同募金配分金事業サービス区分

1.) 一般募金事業（一般募金配分事業）

①新入学児童置き傘贈呈事業

(1) 事業概要

新入学児童に置き傘を贈呈した。

(2) 事業結果

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
明治小学校	111本（内6本予備）	117本（内5本予備）	117本（内5本予備）
駒寄小学校	119本（内6本予備）	158本（内5本予備）	153本（内5本予備）
社協予備			5本

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	247,940円	290,400円	290,400円
事業費	247,940円	290,400円	290,400円

②創立45周年記念吉岡町社会福祉大会事業

(1) 事業概要

吉岡町社協の法人化45周年を迎え、町民が安心して生活できる福祉の町づくりを目指して、社会福祉大会を開催し、併せて多年にわたり、社会福祉事業に功績のあった方々を表彰し、感謝の意を表す。

*令和3年度敬老福祉大会と同日開催で予定していましたが、新型コロナウイルス第六波の影響で、令和4年度の敬老福祉大会で同時実施したい。

	3年度
共同募金配分金収入	11,718円
事業費	11,718円

③歳末ささえ愛年越し食料配布事業

(1) 事業概要

コロナ禍で生活に困り支援を必要としている世帯に、新たな年を迎える時期に安心して暮らすことが出来るために年越し食料を配布する。特にコロナ禍の影響による減収や失業等による生活困窮者や社会的孤立の方に、食料の提供をつうじて支援を必要とする人たちが安心して暮らすことができることを目的に実施した。

(2) 利用対象者

町内に居住し、生活にお困りで支援を必要としている世帯

(3) 事業結果

- ・配布期間 令和3年12月27日・28日・29日
- ・申請世帯 49世帯
- ・配布数 75セット

	3年度
共同募金配分金収入	77,491円
事業費	77,491円

【感想・成果】

令和3年度新規事業として実施。緊急小口や総合資金、生活困窮で対応している方の申請より、全く関わりのない方々からの申請が多かった。

食料を渡す際、「こんなにももらえるとは思ってなかった。子どもがいるので助かる。」などの声をいただいた。地域歳末たすけあい運動実施要項にも生活困窮者への支援事業の展開について記載があるように、今後も歳末募金を活用した本事業は実施していきたい。

④認知症カフェボランティア支援事業

(1) 事業概要

認知症の人とその家族、地域住民誰もが気楽に集うことができる認知症カフェにおいて地域のボランティアが着用するためのポロシャツを作成した。モチベーションの向上、また認知症カフェの周知にも役立つ。

(2) 事業結果

ポロシャツ作成 75着

	3年度
共同募金配分金収入	194,250円
事業費	194,250円

⑤無料法律相談事業

(1) 事業概要

昨今の社会情勢に伴い、町民が抱える悩みごと等において、法律に係る解決困難な相談が増加している現状を考慮し、町民の皆様が少しでも不安を解消し、安心して生活できるように弁護士による無料の法律相談所を開設した。

(2) 事業結果

- ・開設日 毎月第2木曜日（年12回）
- ・相談時間 午後1時30分～4時の間 1人30分
- ・相談員 群馬弁護士会所属の弁護士
- ・相談件数 47件（2年度：39件、元年度：40件）
- ・相談内訳（複数相談有り）

ア 家族について	7件	オ 離婚について	6件
イ 財産について	14件	カ 事故について	1件
ウ 住宅について	9件	キ 苦情について	1件
エ 職業・生業について	2件	ク その他	9件

合計 49件

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	364,698円	368,390円	368,390円
事業費	364,698円	368,390円	368,390円

2.) 歳末たすけあい募金配分金事業 (地域福祉関連)

①ふれあい・いきいきサロン推進事業

(1) 事業概要

地域の中で孤独・閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親子、障がい者や弱者などをつくらな
いという地域福祉の充実を図るため、福祉ネットワークが主体となり住民が中心となって小地域
を単位としたふれあいの場を設け、自主的・自発的に行う交流事業に活動費の助成、外出支援や
交流会を行った。令和3年度は、コロナ禍により外出支援、サロン活動共に各地区で自粛されて
いたが、見守り活動を取り入れるサロンも出てきた。

(2) 事業結果

①運営・整備補助金交付

令和4年3月末現在 ・高齢者サロン 27会場 ・子育てサロン 0会場
・共生型(複合型)サロン 0会場 合計27会場

(補助金交付未申請会場: 高齢者サロン 2会場、子育てサロン 1会場、共生型(複合型)サロン 1会場)

②外出支援

・実施会場 3会場 (2年度: 4会場、元年度: 22会場)
・参加人数 44人 (2年度: 59人、元年度: 322人)

③ふれあい・いきいきサロン代表者交流会

・実施日 令和4年3月22日(火)
・会場 吉岡町老人福祉センター
・参加人数 25人(25サロン)
・内容 コロナ禍のサロン活動状況について情報交換(交流会)

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	774,922円	684,336円	568,308円
事業費	774,922円	684,336円	568,308円

②配食サービス事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者や障がい者に対し、月曜日から金曜日まで(週5回)食事サービスを実施
することにより、食生活の安定と健康保持に寄与し、更に対象者の安否確認と地域社会との交流
を深めることを目的に実施した。

(2) 利用対象者

概ね65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯等で、安否確認が必要で調理が困
難な者とする。

(3) 事業結果 (週5回実施)

年度	利用者数	実施日数	延べ食数	利用券販売額
令和元年度	49人	240日	4,663食	1,434,900円
令和2年度	52人	243日	5,671食	209,400円
令和3年度	55人	272日	6,903食	0円

コロナ禍の影響により火・水・金のボランティア調理中止期間は、角藤のお弁当で対応した。

(5, 6, 8, 9, 10, 1, 2, 3月で2,646食)

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	526,602円	733,274円	1,205,627円
負担金収入	1,398,900円	1,701,300円	2,070,900円
事業費	1,925,502円	2,434,574円	3,276,527円

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連) 1,535,700円 (R2.5.11~)

うち町高齢者弱者対策助成事業(コロナ関連) 2,070,900円 (R3.4.1~R4.3.31)

【運営課題等】

利用希望者が年々増加。特にコロナの影響もあつてか、利用者が増えている。

事業の担い手であるボランティアさんの確保(月・木配達のみ)と調理から配達までを担うボランティア協会へ
の負担が増えている。今後も増加していく場合、社協として業者へ一部の利用者を委託するなど対応策が必要にな
る。

③歳末時期事業

(1) 事業概要

福祉ネットワークの調査から上がってきた、ひとり暮らし高齢者、障がい者、及び高齢者二人世帯を対象とし、年末年始にボランティア協会の協力を得て、地域住民からの声かけと見守りにより、慰労と安否確認を行った。

(2) 事業結果

- ・実施日 令和3年12月29日
- ・対象者数 69人(2年度:66人、元年度:60人)
- ・内容 年越しセットの配食

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	148,788円	160,991円	157,816円
事業費	148,788円	160,991円	157,816円

- ・実施日 令和4年1月4日
- ・対象者数 68人(2年度:58人、元年度:53人)
- ・内容 非常食セットの配布(新年安否確認)

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	95,286円	93,173円	97,164円
事業費	95,286円	93,173円	97,164円

④情報提供(社協だより発行)

(1) 事業概要

地域住民に広く当協議会事業の周知及び社会福祉に対する啓発を目的に広報を発行した。

(2) 事業結果

- ・発行回数 3回
- ・発行部数 25,540部

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	434,432円	473,492円	502,000円
事業費	434,432円	473,492円	502,000円

⑤家族介護者交流事業

(1) 事業概要

家庭で介護をしている介護者を対象に、同じ立場である介護者同士が集い、介護の悩みや心配ごとを話し合うことで、リフレッシュを図るための交流会を開催した。

(2) 事業結果

- ・実施回数 1回(令和4年3月30日実施)
- ・会場 老人福祉センター、しずの苺園(高崎市)
- ・参加人数 6人
- ・内容 いちご狩り、交流会

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	30,579円	24,820円	19,823円
負担金収入	6,300円	4,000円	3,000円
事業費	36,879円	28,820円	22,823円

【感想・目標】

年1回の短時間の実施であったが、介護者がリフレッシュし介護者同士の情報交換の場を持つことができた。コロナ禍で外出がより一層難しい介護者にとって、介護から少し離れてリフレッシュする機会は必要であり次年度は2回開催したい。

⑥学童クラブ図書事業

(1) 事業概要

学童クラブ7か所において、図書の充実を図った。

(2) 事業結果

子ども向け書籍の購入。

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	69,075円	70,655円	32,411円
事業費	69,075円	70,655円	32,411円

⑦避難訓練事業

(1) 事業概要

自治会で行われる避難訓練に合わせてボランティア協会の協力の下、炊き出し訓練を実施し、災害発生時に備えると共に防災倉庫内の防災用品の拡充を図り、いざという時に活用できるように、二つ折担架、毛布及び簡易トイレ等を自治会へ寄贈する。

(2) 事業結果(令和3年度は未実施)

※ コロナ禍により自治会からの要望はなかったが、老人福祉センターの防災倉庫内の防災用品の拡充を図った。

	元年度	2年度	3年度
共同募金配分金収入	0円	132,209円	130,163円
事業費	0円	132,209円	130,163円

5. 受託事業サービス区分

1.) 敬老福祉大会

(1) 事業概要

町内の高齢者を一堂に招待し、慰安激励すると共に、結婚50周年を迎えられたご夫婦を祝福する。また、4人以上の子供を養育し、社会に貢献する親や長年にわたり介護に尽くしている介護者を表彰する。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し式典を中止し、90歳到達者には顕彰状と記念品を配送し、金婚表彰者・エンゼル表彰者・介護表彰者には、贈呈方法の希望調査を行い、表彰状と記念品を贈呈した。

(2) 受賞者

90歳到達者 91人（令和2年度対象者 21人、令和3年度対象者 70人）
 金婚表彰者 7組（配送 4組、社協にて贈呈 3組）
 エンゼル表彰者 4組（配送）
 介護表彰者 1人（配送）

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	709,916円	146,139円	501,653円
事業費	709,916円	146,139円	501,653円

2.) ひとり暮らし保養事業

(1) 事業概要

ひとり暮らし高齢者を孤独感から解放し、当事者同士の交流を深め、お互い助け合って地域で生活できるよう支援することを目的とし、交流の場を提供する。

(2) 事業結果

コロナ禍により開催中止

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	708,066円	0円	0円
負担金収入	476,000円	0円	0円
事業費	1,184,066円	0円	0円

3.) 手話奉仕員養成研修事業（入門課程）

(1) 事業概要

聴覚障がい者の社会参加促進に必要とされる手話を通じて、聴覚障がい者についての基礎知識・生活について学ぶと共に、あいさつや自己紹介程度の会話ができる手話技術を習得した手話奉仕員を養成するため厚生労働省の手話奉仕員養成講座新カリキュラムに基づき講座を開催する。

(2) 事業結果

・実施回数 20回
 ・修了者 11人

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	292,976円	0円	231,498円
事業費	292,976円	0円	231,498円

4.) 障がい者のつどい事業

(1) 事業概要

町内に在住する障がいのある方もない方もが、一緒になって音楽を通じて交流を図ることを目的として新春コンサートを実施する。

(2) 事業結果

コロナ禍により開催中止

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	60,000円	0円	0円
会費収入	141,167円	0円	0円
事業費	201,167円	0円	0円

5.) 介護予防・日常生活支援総合事業

①一般介護予防事業

(1) 事業概要

65歳以上の方及びその支援のための活動に係わる方を対象に、介護状態にならないように、また、介護状態になった場合でも、それ以上に悪化させないための介護予防事業を実施した。

(2) 事業結果

①介護予防・普及啓発事業

「社協だより」「社協ホームページ」に事業の開催について掲載した。また、各種福祉団体等にも介護予防事業の普及啓発を行った。

◎老人福祉センターにおける介護予防教室

町内の65歳以上の全ての方を対象とし、専門職種（健康運動指導士）による運動教室を継続的に開催し、日常生活の安定と健康維持、高齢者同士の交流活動を目的に実施した。

※コロナ禍を考慮し、密を避けるため、人数制限を設けたり、2部制にしたり、感染対策を行った。

	はつらつ体操	げんきアップ体操	ずーと食べ体操
実施回数	24回 2(19回) 1(23回)	24回 2(19回) 1(23回)	— — 1(35回)
参加延人数	519人 2(464人) 1(849人)	254人 2(247人) 1(435人)	— — 1(1,040人)

※（ ）脇の2は、2年度実績、1は、元年度実績

◎町民対象とした介護予防事業

介護予防教室「びんびんげんき教室」

- ・実施日 令和3年11月1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、29日(月)
- ・会場 老人福祉センター ・参加人数 各20人前後
- ・内容 体力測定・簡単筋力トレ、お口のチェック体操、栄養、認知症予防

②地域介護予防活動支援事業

◎地域筋力トレーニング(※鬼石モデル筋力トレーニング実施)

町内 15か所

◎社協職員による介護予防 出前講座

- ・実施回数 5回
- ・参加延人数 55人

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	307,842円	212,971円	265,932円
事業費	307,842円	212,971円	265,932円

6.) 地域支援事業・包括的支援・任意事業

①生活支援体制整備事業

(1) 事業概要

総合事業を行うため、高齢者の生活支援サービスを担う事業主体と連携をしながら、支援体制の充実、強化を図ると共に、地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的とし、事業を実施した。

(2) 事業結果

- ◎協議体設立に向けた準備会議等 6回
- ◎住民向け講演会と勉強会 講演会 2回
勉強会 2回
- ◎生活支援コーディネーター情報交換会 6回
- ◎自立支援型地域ケア個別会議参加 1回

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	772,799円	830,029円	638,171円
事業費	772,799円	830,029円	638,171円

【感想・目標】

- ・令和3年度、協議体再構築に向け、行政・社協・包括で打ち合わせを進めてきました。
- ・コロナ禍のため、勉強会実施では延期することもあり、対話に重点を置く本事業では、住民を一堂に会することが難しく中々進められないことが課題であります。
- ・令和4年度中には、明治・駒寄地区にそれぞれ協議体を設置し、住民主体による町づくりに向けて協議を進めていきたい。

②認知症サポーター養成講座

(1) 事業概要

認知症についての正しい知識を学び、地域で認知症の人を見守ることで、認知症の人やその家族が地域で安心して暮らしていける地域づくりを目指すことを目的に地域住民や小学校4年生等を対象に講座・啓発を実施した。

(2) 事業結果

- ・養成講座 陣場自治会、フレイル予防サポーター、一般町民、駒小4年生、明小4.5年生
実施回数 5回 (2年度: 2回、元年度: 3回)
参加延人数 369人(2年度: 156人、元年度: 308人)
- ・ステッカー配布 個人: 10人 企業: 0社

【感想・反省】

初めて自治会に向けた講座の開催、また、コロナ禍のため明治小学校ではオンライン講座を実施した。今後も様々な対象者に向けて講座が実施できるように周知・啓発やリモートや映像による講座の充実を図っていく必要があると感じた。

さらに、認知症の方の地域支援体制の強化のためのチームオレンジ立ち上げに向けて、サポーターを対象としたステップアップ研修の実施を目指していく。

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	103,553円	82,790円	102,555円
寄附金収入	—	—	20,000円
事業費	103,553円	82,790円	122,555円

7.) 地域福祉交流施設（よしおかROBAROBA）管理事業

(1) 事業概要

地域住民の交流の促進及び福祉の増進を図るため設置された施設の貸館の受付及び維持管理（清掃）業務を行った。

(2) 利用状況

	回数	人数
元気になるカフェ	28回	529人
22カフェ	8回	52人
ハートボラカフェ	8回	149人
学習支援	25回	129人
町放課後見守り教室	8回	50人
計	77回	909人

	3年度
町受託金収入	112,864円
事業費	112,864円

8.) ボランティアセンター事業

(1) 事業概要

令和4年4月に開設の吉岡町ボランティアセンター開設準備事業として実施した。

(2) 実施結果

- ・町と開設に向けた打合せ
- ・町内ボランティア団体への説明会及びアンケート調査
- ・チラシ毎戸配布
- ・パンフレットスタンド、のぼり旗、掲示板の購入

	3年度
町受託金収入	343,868円
事業費	343,868円

【感想・反省】

町民、町内ボランティア団体等がわかりやすく、活動しやすい体制づくりを充実させ構築していくことが必要と感じた。

6. 善意銀行貸付事業サービス区分

(1) 事業概要

低所得世帯の一時的な生活費や医療費等の生活資金の支出困難者に対して、必要な資金の貸付けを行い、低所得世帯の更生と福祉の増進を図ることを目的とし、事業を実施した。

(2) 事業結果

- ・貸付 2件（前年度実績：0件） 210,000円
- ・援護費 行旅人 0件（前年度実績：0件） 0円

7. 退職手当積立金事業サービス区分

(1) 事業概要

全国社会福祉団体職員退職手当基金制度に退職積立金を行う。

(2) 事業結果

- ・加入職員数 : 13人
- ・掛金合計 : 45,129,090円（令和4年3月31日現在）

8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分

(1) 事業概要

平成18年4月から町の指定管理を受け、地域の高齢者の健康の増進、教養の向上及び高齢者の外出場所の確保や閉じこもり生活からの解放、高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいづくりを目的として、行こういこいの家八幡（自主事業）を実施した。

(2) 事業結果

・年間利用状況

年度	年間利用者数	年間開所日数	一日平均	利用料	備考
令和元年度	18,241人 (12,480人)	264日 (236日)	69.0人 (52.8人)	20,800円	年間 (3月15日～休館)
令和2年度	10,950人 (5,442人)	265日 (208日)	41.3人 (26.1人)	1,800円	年間 (4月、5月休館)
令和3年度	12,458人 (7,404人)	268日 (245日)	46.4人 (30.2人)	2,600円	年間

()内は入浴利用者数

①行こう！いこいの家八幡（自主事業）

高齢者同士の仲間づくり、高齢者の楽しみや生きがいづくりとなることを目的として講演、教室、趣味の会を実施した。

・お話し会の会

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎月第3木曜日11:00～ (7月から開始)	わらべの会による読み聞かせ	9回	89人

・講演、教室

実施日時	内容	参加人数
5月20日(木) 13:30～14:30	椅子に座ってやさしいヨガ体操	13人
6月16日(水) 13:00～14:00	健康体操レクリエーション	18人
7月21日(水) 13:15～13:45	栄養と食生活の改善	22人
10月30日(土) 13:30～14:20	館内ウォークラリー	14人
12月10日(金) 12月17日(金) 10:00～12:00	自分史づくり	8人

・趣味の会 14ヶ所

実施日時	内容	実施回数	延参加人数
毎週木曜日 10:00～11:30	つるし飾り作り	26回	132人
10月まで第1金曜日 11月～3月第1・3金曜日 13:30～15:30	編み物	11回	44人
毎月第2・4木曜日 13:30～15:30	かんたん絵画	16回	162人
毎月第1・3火曜日 10:00～11:30	フラダンス	16回	144人
毎月第1・3土曜日 10:00～12:00	踊り	10回	56人
毎月第1水曜日 10:00～11:30	茶道	5回	69人
第2・4水曜日 13:30～	大正琴	9回	44人
毎週金曜日 9:30～10:30	鬼石式筋トレ	45回	324人
毎日 14:00～	ラジオ体操	222回	2,634人

	元年度	2年度	3年度
前期末支払資金残高	1,635,132円	2,140,892円	2,149,627円
町受託金収入	19,119,000円	21,005,000円	21,330,000円
利用料等収入	333,466円	875,076円	306,767円
事業費	18,946,706円	21,871,341円	22,029,602円

9. 学童クラブ管理事業サービス区分

1.) 学童クラブ指定管理事業

(1) 事業概要

平成23年4月以降、町から指定管理を受け、学童クラブ6箇所の運営管理を子ども子育て支援新制度を遵守し、放課後児童の健康管理、安全確保、情緒の安定に努め、保護者が安心して預けられる環境整備を行い、家庭と学校との連携を図りつつ保護者の意見が反映されるよう運営に努めた。

(2) 事業結果(令和3年4月～令和4年3月) ※ () 協の2は、2年度実績、1は、元年度実績

明治小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
明治学童クラブ (定員70人) ※1	76人	0人	292日	7,652人	26人
			2(275日)	2(6,505人)	2(24人)
			1(288日)	1(6,796人)	1(24人)
明治第2学童クラブ (定員15人)	18人	0人	240日	7,014人	29人
			2(230日)	2(6,377人)	2(28人)
			1(235日)	1(6,651人)	1(28人)
中央学童クラブ (定員60人) ※1	69人	9人 ※2	238日	5,722人	24人
			2(233日)	2(5,456人)	2(23人)
			1(237日)	1(5,779人)	1(24人)
			235日	5,839人	24人
			2(229日)	2(5,023人)	2(22人)
			1(226日)	1(4,798人)	1(21人)
合計	163人	9人		29,668人	

駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第1学童クラブ (定員75人) ※1	73人	0人	254日	7,206人	28人
			240日	5,966人	25人
			(253日)	(6,251人)	(25人)
駒寄第2学童クラブ (定員75人) ※1	75人	0人	224日	6,183人	27人
			(230日)	(6,017人)	(26人)
			229日	7,691人	33人
			212日	5,838人	28人
			(237日)	(6,321人)	(27人)
			200日	6,891人	34人
			200日	6,222人	31人
			(228日)	(6,809人)	(30人)
駒寄第3学童クラブ (定員90人) ※1	87人	0人 ※3	254日	7,535人	29人
			257日	6,290人	24人
			(251日)	(7,002人)	(28人)
			233日	6,333人	27人
			222日	5,106人	23人
			(229日)	(6,029人)	(26人)
合計	235人	0人		41,839人	

※1 (支援単位) 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」により1支援単位を構成する児童の数(集団の規模)は、概ね40人以下となっているため2班に班別し、上・下段で表記。

注:平成27年度から子ども子育て支援新制度により定員基準が概ね40人となった。それ以前は70人。

※2 待機児童は、4年生4人、5年生4人、6年生1人の9人であった。令和4年度、学童クラブ新設により解消される見込み。

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	17,935,367円	20,562,687円	21,736,170円
学童保育料収入	22,984,500円	21,197,000円	33,118,000円
事業費	40,919,867円	41,759,687円	54,854,170円

2.) 学童クラブ運営補助事業

(1) 事業概要

待機児童対策として令和3年4月に新規に駒寄第4学童クラブ(15人定員)を業務委託にて開設した。

(2) 事業結果(令和3年4月～令和4年3月)

：駒寄小学校区

学童クラブ名	4月入所状況		年間開所日数	年間利用児童数	一日平均
	登録児童数	待機児童数			
駒寄第4学童クラブ (定員20人)	19人	0人		3,771人	15人
合 計	19人	0人		3,771人	

	2年度	3年度
町補助金収入	1,027,702円	5,142,225円
学童保育料収入	—	1,725,000円
事業費	1,027,702円	6,867,225円

I. 社会福祉事業 ii. 介護保険事業拠点区分

1. 介護保険事業サービス区分

1.) 居宅介護サービス

(1) 事業概要

ホームヘルパーが障がいのある方の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス。

(2) 事業結果

障がい者 訪問介護集計表

年 度	人 数	訪問回数	利用時間	居宅介護給付費
令和元年度	9人	898回	960.5h	1,802,564円
令和2年度	8人	956回	1,030.5h	1,931,110円
令和3年度	7人	945回	975.5h	1,974,670円

2.) 訪問介護事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが利用者の居宅に訪問し、入浴、排泄及び食事等の介護、調理、洗濯、掃除等の家事を行う、介護保険法に基づくサービス。

(2) 事業結果

訪問介護集計表

年 度	人 数	介護総時間	身体介護	生活援助	身体生活	報酬総額
令和元年度	365人	5,216.25h	381.00h	2,837.00h	1,998.25h	15,678,802円
令和2年度	374人	3,912.25h	483.00h	2,324.50h	1,104.75h	12,082,391円
令和3年度	497人	4,835.75h	803.00h	2,486.75h	1,546.00h	15,426,367円

介護予防・日常生活支援総合事業集計表

年 度	人 数	訪問時間	報酬総額
令和元年度	253人	1,565.25h	5,151,632円
令和2年度	244人	1,521.00h	5,016,488円
令和3年度	225人	1,291.00h	4,265,742円

3.) 吉岡町移動支援事業

(1) 事業概要

ホームヘルパーが居宅に訪問し、屋外での移動に困難がある障がい者に対して、外出のための支援を行う、吉岡町が実施主体の事業。

(2) 事業結果

移動支援事業集計表

年度	人数	訪問時間	町負担額
令和元年度	1人	25.0h	115,000円
令和2年度	1人	26.0h	119,600円
令和3年度	2人	32.5h	125,500円

【感想・反省】

- ・訪問介護報酬の減収は、数年前から利用者の減少や訪問時間の減少により減収傾向であったが、令和2年度はコロナ禍での利用控え等による訪問時間数減少の影響が顕著であった。
- ・令和3年度は、訪問時間数と収入がコロナ禍以前の状態に戻ってきた。しかし、コロナウイルス感染症の影響はまだあり、訪問介護員の不足も解消していない。引き続き営業努力を行い利用者数を増やし、ヘルパーの人材確保と質の向上に努め、良質なサービスの提供に努めたい。

	元年度	2年度	3年度
前期末資金残高	267,848円	898,393円	229,603円
事業活動による収入	22,749,398円	19,149,589円	21,792,279円
積立資産取崩収入	0円	520,000円	0円
補助金収入	0円	300,000円	0円
総事業費	22,118,853円	20,638,379円	20,858,101円

II. 公益事業 i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点区分

1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分

(1) 事業概要

平成28年、県社協からの委託事業として、県内8町村社協に相談支援員が配置された。

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談支援事業の実施やその他の支援を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の発生による休業等に伴う収入の減少により、住居確保給付金の制度利用の相談・申請窓口となった。

(2) 事業結果

年度	電話相談	面談	訪問同行支援	他機関と会議	電話照会	その他
令和元年度	95件	58回	31件	10回	154件	13件
令和2年度	223件	182回	9件	0回	209件	13件
令和3年度	196件	165回	3件	1回	177件	3件

◎住居確保給付金申請

- ・相談対応件数 354件（前年度：471件）
- ・給付申請者数 18件（前年度：24件）
- ・給付金額 7,538,100円（延長・再延長・再々延長・再支給含む）（前年度：4,250,400円）

令和2年と比較し、相談件数は減少。住居確保給付金申請者で離職理由の割合の方が令和3年度は、多かった。コロナの影響による離職が多く、受給中に就職や増収につながった方は少ない状況でした。

	元年度	2年度	3年度
県社協受託金収入	4,468,000円	6,132,375円	4,866,375円
事業費	4,468,000円	6,132,375円	4,866,375円

II. 公益事業 ii. 成年後見制度事業拠点区分

1. 成年後見制度事業サービス区分

(1) 事業概要

認知症、知的障害、その他の精神上の障害により、物事を判断する能力が不十分な人の権利を守り、安心して暮らしていけるよう、関係機関との連携を強化し、成年後見制度の利用を促進し、町民の権利支援をすることを目的とし、町から委託され設置している。

(2) 事業結果

・相談件数 13件

相談内容内訳（重複あり）

相談内容	法定後見	任意後見	身元保証	相談・遺言	※その他	計
件数	10件	3件	0件	1件	3件	17件

※その他・・・日常生活自立支援事やNPO法人等による金銭管理事業

	3年度
町受託金収入	74,783円
事業費	74,783円

II. 公益事業 iii. 地域包括支援センター事業拠点区分

1. 地域包括支援センター事業サービス区分

(1) 事業概要

高齢者の心身の健康の維持及び生活の安定の為に必要な支援を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とし、町から委託され設置している。医療・福祉の専門職がチームで業務を行っている。

(2) 事業結果 ※ ()は、前年度実績

①総合相談支援業務

- ・新規相談件数 177件 (150件)
- ・総合相談延件数 2,972件 (3,470件)
- ・実態把握訪問件数 94件 (57件)

他のすべての業務の入り口であり、包括支援センター事業実施のための基盤的役割を果たすものである。また、実態把握とは、支援が必要な人を発見するとともに地域ごとの課題やニーズを把握することである。今年度もコロナ禍のために外出の機会が減り、過去に実施した町のアンケート調査において、包括支援センターへの情報提供に同意をいただいた65歳以上の方で、うつ傾向と閉じこもり傾向の両方に該当する方に対する実態把握訪問に力を入れたため訪問件数は昨年度より増加した。

②権利擁護業務

- ・高齢者虐待相談件数 1件 (8件)
- ・成年後見相談件数 9件 (16件)
- ・消費者被害相談件数 2件 (2件)

人権・権利擁護を目的として積極的介入支援をおこない、自己決定に基づく契約が十分にできない人の権利をまもることである。今年度は社協内に「成年後見支援センター」が開設されたこともあってか相談件数は昨年度より減少した。また、高齢者虐待相談件数も昨年度より減少し、今年度は渋川警察署生活安全課と連携した虐待防止担当者会議の実施、高齢者虐待防止や消費者被害防止の周知に力を入れた。

③包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・ケアマネ支援件数 178件 (103件)
- ・ケアマネ情報交換会（Web開催） 1回 (1回)
- ・地域ケア会議（個別） 4件 (3件)
- ・自立支援型個別地域ケア会議 1回 (2回)

介護保険制度の理念である自立支援・利用者本人本位・法令遵守し、介護支援計画書作成に必要な知識と技術を向上させ、生活課題を有する方々が必要な社会資源へ結びつくよう関係機関と連携しやすくする。昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍のために対面形式での会議開催や研修会への参加が難しい中、自立支援型個別地域ケア会議は1回実施した。また、ケアマネ情報交換会は感染拡大防止対策としてケアマネージャーが参加しやすいリモート開催にて1回実施した。

④在宅医療介護連携推進事業

- ・ 渋川地区在宅医療介護連携支援センター会議 16回 (14回)
- ・ 渋川地区在宅医療介護連携支援センター講演会等協力 14回 (7回)

渋川地区在宅医療介護連携支援センターと協同し、渋川地区（渋川市・榛東村・吉岡町）の医療と介護連携に努め、地域包括ケアシステムの構築を目指す。月1回の調整会議に参加し、情報を共有し、講演会等の開催協力や周知活動を行っている。

⑤認知症総合支援事業

- ・ 認知症初期集中支援チーム支援件数 1件 (5件)

認知症初期集中支援チームでは、認知症で困っている方個人に対し支援を行い、認知症地域支援推進員は、認知症になっても住みやすい地域を作る支援を行うために認知症カフェの運営協力、認知症サポーター交流会や研修会への協力、昨年度作成した認知症ケアパスを関係機関や認知症の家族等へ周知した。今年度から認知症サポーター養成講座と認知症カフェ関係の業務が社協へ移行したが、包括は現場での気付きを社協と共有することで協力した。また、専門職として認知症カフェでの相談対応は今年度も継続し、認知症サポーター養成講座の講師も務めた。

⑥介護予防支援業務

- ・ 要支援者延人数 2,079人 (2,074人)
- ・ プラン作成延件数 893件 (881件)
- (内、委託件数) 387件 (324件)

要支援1・2の認定を受けた方が、自宅で介護予防のためのサービスを適切に利用できるようなケアプランの作成やサービス事業所との連絡・調整等を行う。今年度は、コロナ禍における感染対策を行いながらサービスの導入・調整等の対応に努めた。また、総合事業からの移行や新規相談者は居宅介護支援事業所へ繋ぐことで委託件数は昨年度より増加した。

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	21,975,118円	23,645,144円	19,546,412円
介護報酬収入	4,605,320円	3,931,520円	4,116,570円
補助金収入	0円	145,000円	0円
雑収入	66,040円	0円	0円
事業費	26,646,478円	27,721,664円	23,662,982円

⑦地域支援事業（介護予防ケアマネジメント）

- ・ 事業対象者延人数 153人 (149人)
- ・ プラン等作成延件数 494件 (551件)
- (内、委託件数) 66件 (121件)

「総合事業」における「介護予防・生活支援サービス事業」の中に位置づけられており、要支援者の状況にあった適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう必要なケアをマネジメントする。プラン作成件数の内、要支援から要介護への区分変更や通所介護と訪問介護以外のサービス導入等により総合事業の対象外となり委託延件数は前年度より減少した。

【総合的見解】

今年度から職員体制を見直し、事務員を1名配置して事務の効率化を図ることで、専門職は地域へ外向きアウトリーチに力を入れるなど、専門性を活かした業務への取り組みが行えるようになってきたため、今後もチームアプローチにより地域住民の方が吉岡町で安心して生活が続けられるよう継続した支援を行っていく。

	元年度	2年度	3年度
町受託金収入	3,525,786円	3,379,192円	4,495,285円
介護報酬収入	2,298,480円	2,541,080円	2,226,240円
事業費	5,824,266円	5,920,272円	6,721,525円

その他の事業

1. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務

1.) 一般募金 (赤い羽根共同募金)

1月5日から町内全世帯に自治会を通してチラシ等を配布し、募金趣旨の啓発、募金の協力を呼びかけた。(コロナ禍を受け、自治会負担軽減のため、歳末たすけあい募金と同時に実施した。)

年度	戸別募金			学校・イベント募金	合計	
	協力世帯数	募金額	納入率		募金額	前年度比
令和元年度	5,804世帯	2,321,600円	72.1%	76,062円	2,397,662円	100.3%
令和2年度	5,958世帯	2,387,300円	72.5%	79,406円	2,466,706円	102.9%
令和3年度	5,807世帯	2,322,800円	68.9%	83,394円	2,406,194円	97.5%

2.) 歳末たすけあい募金

1月5日から町内全世帯(生活保護及び施設入居者は除く)に自治会を通じて募金用途チラシ等を配布し、募金趣旨の啓発と募金の協力を呼びかけた。又、町内法人には高崎法人会吉岡地区会並びに、吉岡町商工会等を通じて募金趣旨を啓発、募金の協力を呼びかけ、更に民生児童委員・社協役職員による訪問を行い募金活動を実施した。(コロナ禍を受け、自治会負担軽減のため、一般募金(赤い羽根募金)と同時に実施した。)

年度	戸別募金			法人募金		
	協力世帯数	募金額	納入率	協力法人数	募金額	前年度比
令和元年度	5,769世帯	1,730,700円	71.6%	263法人	1,350,729円	101.1%
令和2年度	5,981世帯	1,794,500円	72.7%	261法人	1,358,514円	100.6%
令和3年度	5,815世帯	1,744,500円	69.0%	272法人	1,382,235円	101.7%

年度	団体募金		個人募金・その他		合計	
	協力量人数	募金額	協力者数	募金額	募金額	前年度比
令和元年度	1団体	30,000円	3人	20,104円	3,131,533円	95.9%
令和2年度	1団体	30,000円	1人	10,000円	3,193,014円	102.0%
令和3年度	1団体	30,000円	3人	19,057円	3,175,792円	99.5%

3.) 支会運営委員会 (H24. 8. 17 設立)

(1) 事業概要

県共募の定める諸計画に基づき、町内の地域福祉向上の推進のため、住民の参加を図り民意を十分に反映し共同募金運動を行うことを目的に設置する。

(2) 運営委員会開催状況

開催年月日	議題
3. 5. 25	運営委員の選任について 令和3年度 共同募金地域配分基準及び特別配分の制定について 令和3年度 吉岡町支会共同募金推進計画について 令和2年度 共同募金(3年度事業)配分申請書(再公募)の審査について 令和2年度 吉岡町支会共同募金推進計画の変更について
3. 9. 24	令和3年度 共同募金運動実施について
4. 3. 1	令和3年度 共同募金配分申請書の審査について 令和3年度 吉岡町支会共同募金推進計画の変更について

2. 吉岡町民生委員児童委員協議会

平成27年4月、町から事務局が移管された。民生委員児童委員協議会の主な活動状況は以下のとおりだった。

- ・毎月1回 役員会、定例会開催。
- ・子育てサロンよしおか (コロナ禍により休止)
- ・視察研修 (コロナ禍により中止)
- ・各種研修会に参加

3. 各種福祉団体支援

団体支援の説明を記載

団体名	会員数	支援内容	補助金額
更生保護女性会	87人	総会、社会を明るくする大会、公開ゲース等への協力支援(コロナ禍により外出研修等中止あり)	42,489円
老人クラブ連合会	436人	総会、県・会主催事業(グランドゴルフ大会、輪投げ大会)への協力支援(コロナ禍により中止もあり)	182,388円
ボランティア協会	124人	総会、会主催事業(環境美化等)、給食への協力支援、縫製活動の協力(コロナ禍により中止も)	220,000円
母子保護連盟	12人	総会、会主催事業への協力支援	0円
身体障がい者自立更生会	22人	総会(書面)、会主催事業(輪投げ大会、室内グランドゴルフ大会、陶芸教室等)への協力支援	0円
知的障がい児(者)親の会	6人	会議開催等への協力支援	0円
遺族会	99人	総会、護国神社(みたま祭・例大祭)、研修旅行、県戦没者追悼式への協力支援(コロナ禍により中止もあり)	74,000円

会計の区分一覧（経理規程第7条第4項）

当法人が設定する事業区分、拠点区分、サービス区分は下記のとおりとする。

事業区分 (大分類)	拠点区分 (中分類)	サービス区分 (小分類)
I. 社会福祉事業 P1～P18	i. 地域福祉事業拠点 P1～P17	1. 法人運営事業サービス区分 P1～P2
		2. 地域福祉事業サービス区分 P3～P8
		3. 日常生活自立支援事業サービス区分 P9
		4. 共同募金配分金事業サービス区分 P9～P11
		5. 受託事業サービス区分 P12～P14
		6. 善意銀行貸付事業サービス区分 P14
		7. 退職手当積立金事業サービス区分 P14
		8. 老人福祉センター指定管理事業サービス区分 P15
		9. 学童クラブ管理事業サービス区分 P16～P17
	ii. 介護保険事業拠点 P17～P18	1. 介護保険事業サービス区分 P17～P18
II. 公益事業 P18～P20	i. 生活困窮者自立相談支援事業拠点 P18	1. 生活困窮者自立相談支援事業サービス区分 P18
	ii. 成年後見制度事業拠点 P19	1. 成年後見制度事業サービス区分 P19
	iii. 地域包括支援センター事業拠点 P19～P20	1. 地域包括支援センター事業サービス区分 P19～P20
その他の事業 P21		1. 群馬県共同募金会・吉岡町支会業務 P21
		2. 吉岡町民生委員児童委員協議会 P21
		3. 各種福祉団体支援 P21